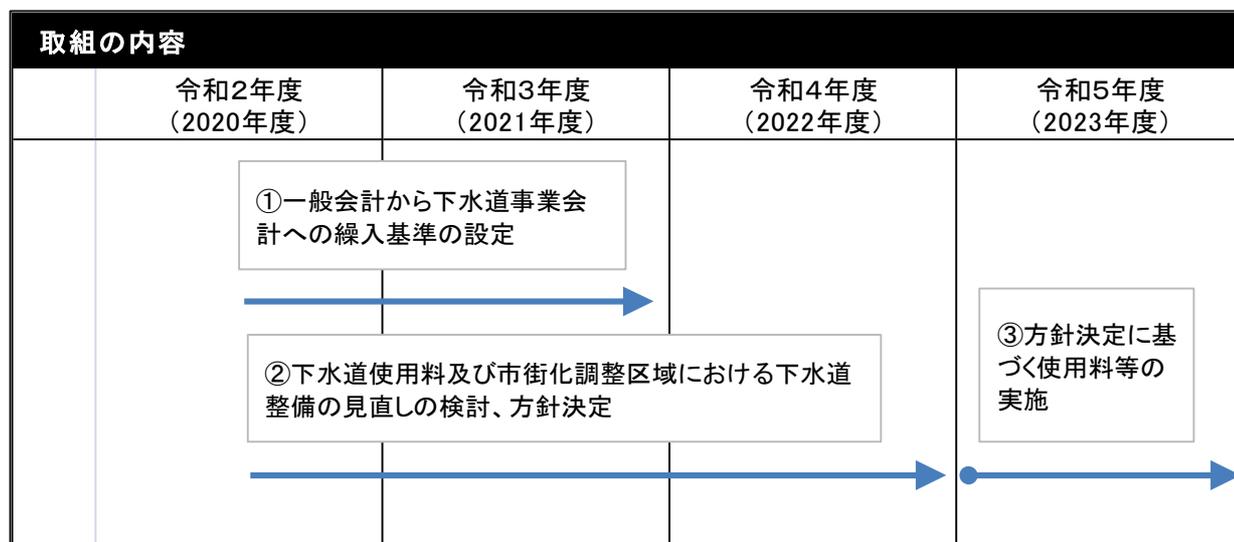


No	事業名／担当課	(1) 現状 (2) 課題	(3) 改善策(例) (4) 求める効果
4	下水道事業の見直し(抑制) 【担当課】 ・下水道課(主) ・財政課 ・環境課	(1) 現状 ・普及率90%(H30決算)で下水道の整備がほぼ完了 ・下水道の使用料 137.4円/m ³ (H30実績) 汚水処理原価 152.9円/m ³ (H30実績) 汚水処理原価(建設費含む) 252.0円/m ³ (H30実績) ・建設改良費が高額 389,431,268円(H30決算) (2) 課題 ・今後の施設の長寿命化 ・将来的な維持管理費の増加 ・市街化調整区域における下水道整備	(3) 改善策(例) ・下水道使用料の見直し ・一般会計から下水道事業会計への繰入基準の設定 ・公共施設総合管理計画(公共FM)と整合を図った施設の長寿命化 ・市街化調整区域における下水道整備の見直し (4) 求める効果 ・持続可能な下水道の運営 ・管渠整備費の縮減



※公共施設総合管理計画(公共FM)と整合を図った施設の長寿命化をあわせて図る。

※合併式浄化槽の補助金の設置についてあわせて検討する。

※し尿の処理に係る手数料の見直しについてあわせて検討する。